

# ARMING ADJUSTER

アーミングアジャスターは、フロイドローズタイプ等のロック式トレモロや、シンクロナイズドタイプ・トレモロをフローティング・セッティングした際にありがちなチューニングの不安定さ、特にチョーキング時に他の弦がチューニングダウンしたり、弦が切れた場合に他の弦がチューニングアップするのを防ぐ、画期的なユニットです。

## 取り付け方法

取り付け位置を決める為、トレモロユニットをフローティング状態にします。ロック式トレモロの場合はブリッジプレートがボディと平行に、シンクロナイズドタイプの場合はブリッジ後部がボディから2～2.5mm程浮く状態にして下さい。トレモロスプリングが3本掛かっている場合は中央のスプリングを外し、図①の様にハの字型にして下さい。フローティング状態の調整は弦の巻き上げ、または緩めることによって行います。この時点ではチューニングは無視して構いません。

## アーミングアジャスターの取り付け

アーミングアジャスターは通常 図①の位置に取り付けます。トレモロブロックのパーツ先端部が当たる位置に、付属のスポンジパッドを貼り付けて下さい。アーミングアジャスターの先端がスポンジにしっかりと密着する位置でアーミングアジャスターをボディにネジ止めして下さい。

## セッティング

スプリングハンガービスをいっぱいに締めこんだ後、チューニングをして下さい。この時、図③の様に隙間ができてしまう場合はスプリングの張力よりもカウンタースプリングの張力が弱いので、Aのナットを締め込みカウンタースプリングの張力を上げて隙間をなくします。

チューニングが合い、アジャスター側に隙間が見られなくなったらブリッジのフローティング状態が適正であるか確認して下さい。ここでの微調整はBのナットで行います。微調整後はもう一度チューニングをして下さい。

以上のセッティングでもチョーキング時にトレモロがダウンしてしまう場合は、図②の様にトレモロスプリングを増やす、又は張力の強いスプリングに交換して下さい。スプリングを増やす、又は交換した場合はスプリングハンガービスを少し緩め、張りが強過ぎ無い様に調整して下さい。また、再度隙間とフローティング調整を行って下さい。

